

目次

3-5 第2回大槌町旧役場庁舎
検討委員会を開催しました

6-7 平成25年大槌町成人式

8 都市整備課からのお知らせ

9 町民課からのお知らせ

10-11 大槌町カレンダー (2月5日～3月4日)

12 津波警報が変わります

13 大槌町地域包括支援センターのページ
楽笑高齢者なろう!

14-15 まちの話題あれこれ

16-17 城山の風 第60号
教育委員会だより

18-19 まちのお知らせ

20 復興イチゴでおおつちに元気を



表紙
笑顔溢れる成人式
震災後2度目となる大槌町成人式。新成人をはじめとした多くの人が集まり、会場となった城山体育館は、笑顔で満ちあふれていた。

総合政策課からのお知らせ

第2回 大槌町旧役場庁舎検討委員会を開催しました

東日本大震災津波により被災した大槌町旧役場庁舎について、町の震災遺構として保存すべきか、解体すべきか多角的な視点で検討するため、第2回大槌町旧役場庁舎検討委員会を開催しました。

- 開催日時 1月12日(土) 13時～15時15分
- 開催場所 大槌町役場3階大会議室
- 出席者 委員全11名(学識経験者、役場職員の遺族、町議会議員、高校生、役場職員組合の方々で構成)
- 議題 大槌町旧役場庁舎に係る今後のあり方について

**(1) 旧役場庁舎に係る
町民からの主な意見・提言内容について**
事務局から、昨年12月に町内32カ所に設置した意見・提言箱に寄せられた町民の方々からの意見・提言(全51回答)の内容を報告。

【論点①】 旧役場庁舎の保存または解体について検討するに先立ち、旧役場庁舎をどのような場所としてとらえるべきか?

- ・単なる町民に各種サービスを行う場、町民のための諸施策を行う場
- ・保存させるほどの特別な位置付けのある建物とは思えない。周辺に残っている建物と同様の感覚しかない
- ・震災後は、大槌を語る最大の風景となっている

【論点②】 旧役場庁舎の保存または解体について検討するに当たり、どのような点を考慮すべきか?

- ・遺族や職員の気持ちを一番に考慮すべき
- ・維持管理費を考慮すべき
- ・町の景観や町民の気持ちを考慮すべき
- ・復興の妨げにならないようにすべき

(2) 旧役場庁舎の検討に係る論点整理について
論点①、②について、事務局が提示したポイントを踏まえ議論。

【論点①】 旧役場庁舎をどのような場所としてとらえるべきか?

- ① 行政サービスの場所
- ② スポット的な場所
- ③ 町を発展させてきた場所
- ④ 復旧・復興の妨げとなる場所

【論点②】 検討するに当たり、どのような点を考慮するべきか?

- ① 犠牲となった職員の鎮魂
- ② 防災教育
- ③ 町民および職員遺族、職員の感情
- ④ 整備・維持管理費
- ⑤ 後世への伝承
- ⑥ 景観形成

委員からの
主な意見内容

- ・震災前は特別な場所ではなくても、震災があったことにより特別な場所になったという考え方もある。
- ・町民の意見・提言を見ると復興の遅れに対するいらだちが感じられ、復興遅延を象徴する建物になってしまっているのではないか。
- ・町外の方々を乗せた大型バスは必ず旧役場庁舎に寄り、みんな手を合わせている。旧役場庁舎がなくなると、あの場所は素通りされ、津波の被害規模も分からなくなるのでは。
- ・町外からの方々も来るということは、交流人口という観点での論点整理も必要ではないか。
- ・亡くなった40人の職員を考えると、彼らには彼らの歴史があったし、町の歴史が築かれてきた場所でもある。
- ・旧役場庁舎保存に係る請願署名者のうち町外居住者の割合が75%ということは、町外の方が強烈な印象を受けているということを表しているのでは。